

部局名 地域資源創成学研究科

担当：瀧 伸一（修士課程1年）



テーマ カードゲームを用いたワークショップで「持続可能な地域のつくり方」を考える取り組み



自己紹介と取り組み

現在、私は社会人学生として地域資源創成学研究科で学んでいます。研究テーマは『SDGsと地方創生の研究～カードゲーム教材を用いた主体形成の可能性について～』になります。

私たちの身近にある大きな社会課題や問題を解決するには、より広く、より効果的に伝え、多くの人々の知恵を結集し具体的な行動を起こしてもらう必要があります。その方法として何が良いのか。私自身がたどり着いたひとつの方法が、『カードゲーム』を使ってすこし先の未来を体験してもらうことです。そして、参加者一人ひとりがカードゲームの体験を通じ、SDGsを「自分ごと」として考えてもらえるような「場」づくりを目指しています。

すでに多くの企業や団体では社内研修として、自治体や学校では職員向け研修として導入いただき実践しています。引き続き、未来の創造を可能にするカードを上手く活用し、「誰一人取り残さない」持続可能な地域づくりに貢献します。



参考URL



<カードゲームをもっと詳しく>
<https://www.nexuslife.co.jp/sdgs-cardgame>株式会社ネクサスライフ



<日ごろの活動>
<https://www.facebook.com/taki.shinichi>



3つのカードゲームを使い分けSDGsをもっと身近に！

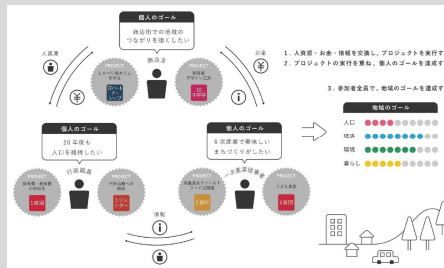
SDGsの本質を理解する
2030SDGsカードゲーム

SDGsの考え方を地域活性化に活かす
SDGs de 地方創生カードゲーム

事業を通じた社会課題解決を考える
SDGsアウトサイドインカードゲーム



期待される成果・効果



「SDGs de 地方創生」は、地方創生に取り組む日本の自治体や、ソーシャルセクターの具体的なアクションを題材にし、多様なプロジェクトの実行を通じて“行政と市民による協働”を体感できるカードゲームです。地方創生がうまくいっているケースとそうでないケースの間にある違いは何かを考え、アクションする上でのハードルや生じる課題は何かを理解し、参加者一人一人が行動変容を起こすきっかけを提供します。

